公益財団法人 助成財団センター コンプライアンス基本方針

「公益法人」は、複雑化した現代社会において不特定多数の者の利益を実現するための「公益事業」を行って公益の増進を図ることを目的としています。とりわけ公益法人の管理運営は、常に「公益性」の意義を念頭に置き、「公正性・公平性・透明性のある適正な事業活動」を通じて、社会の期待と信頼に応えていくことが課せられた基本的な責務です。

そのためには、コンプライアンスをすべての事業活動の前提と捉え、法令等のルールや社会規範に則った適正な活動に徹し、社会やステークホルダーの皆さまの要請に積極的に応えていくことが公益法人には求められます。

このような認識のもと、公益財団法人助成財団センター（以下「当センター」という。）は、ここにコンプライアンス基本方針を制定します。

当財団の全ての役職員は、この方針の理念が具体的行動になって生かされるよう不断の努力と自己規律に努めなければなりません。

1. 法令の遵守

各種法令・規則、当センター規程を厳格に遵守し、社会規範にもとることのない誠実かつ公正な事業活動を行います。

2. 基本的人権の尊重

事業活動のあらゆる場面において、基本的人権を尊重し、性別、年齢、職業、国籍、人種、思想、信条、宗教、社会的地位または門地等を理由とする差別や人権侵害は認めません。

3. ハラスメントの禁止

セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント等のいかなるハラスメントも認めません。

4. 情報の開示

公益法人の社会的責任や日本の社会経済における重要な役割を十分認識し、自らの業務及び財務等に関する情報の適時・適切な開示に努めます。

5. 正確な情報の作成、管理

適時・適切な情報開示を行うため、業務情報について正確な記録を作成、管理することに努める。また、内部や外部の監査・検査に対して、十分に協力します。

6. 利益相反の防止

当センターの正当な利益に反して、自分や第三者の利益を図る行為は認めません。

7. 個人情報および特定個人情報等の取扱い

個人情報および特定個人情報等の管理には十分注意を払い、関係法令を遵守し、業務上必要な目的以外には利用しません。

8. 機密情報の取扱い

機密情報については、適正に管理し、権限のない者に機密情報を開示したり、当センター以外の者のために機密情報を利用しません。

9. 知的財産権の保護

著作権、商標権、特許権等の知的財産権を尊重し、これらの権利を侵害しないよう十分に留意します。

10. 反社会的勢力との関係排除

自らの社会的責任を十分に認識し、反社会的勢力といかなる関係も持たないことに努め、公共の信頼を維持し、健全な事業運営を実現します。

11. 健全な職場環境の維持

労働関係法令を遵守し、安全で健全な職場環境を維持します。

12. 地球環境への配慮

地球環境の保護が重要な責務であるとの認識に立ち、関係法令および各種規制を遵守し、地球環境との調和、環境の改善に配慮して行動します。

2023年3月3日制定